

上野原縄文の森 だより



UENOHARA JOMON NO MORI

2006.11
vol.11



「コスモス園から縄文の森を望む」

コラム テーマ 「新たな感動を求めて」

上野原縄文の森は、「約9,500年前の国内では最古で最大級の集落遺跡」として大きな話題のもと平成14年10月に開園し、先日開園4周年を迎えた。この間、コナラなど多くの樹木はしっかりと台地に根を下ろし縄文時代の森の様相を呈しつつあるし、また、県内外からの来園者も57万人に達し、着実に歴史を刻みつつある。

ここには、縄文時代に生活した人々の痕跡が、遺物・遺跡として数多く保存・展示されている。当時の人々の生活は衣食住どれをとっても現在の私たちとは大きくかけ離れているのだが、道具や情報伝達手段、交通手段等のない時代における先人の知恵や技術等に驚かされることが多い。

まずは、土器や髪飾りなどに見られる縄文人の美的感覚である。形やデザインなど単純ではあるが、その美は現在のものとも十分に対抗できるように思う。また、鏝（やじり）や首飾りなどは、材料となる黒曜石や翡翠（ヒスイ）など産出場所が限られるため入手はかなり困難を極めたはずであり、さらに石以外に製作道具のない時代にあれほど繊細に仕上げるためにはどれくらいの労力を掛けたのか想像もつかない。それだけに一つ一つが貴重で製作者の強い思いが込められているように思う。

食についても、豊富な食べ物に囲まれた私たちと異なり、木の実など森の恵みを主な食料としているが、どんぐりはアクを抜いたうえで粉にして利用するとか、茸にしても有毒なものもあり多くの犠牲者乗り越えて無毒なものだけを食べるなど、日々の生活の中で積み重ねた経験や知識をもとに、文字のない時代に広く語り伝えていったはずである。

折りしも桜島など火山活動の激しい時代でもある。展示物を眺めていると、当時の人々は、火山や地震など自然の脅威に怯えながらも、自然に身を任せて心豊かに生活していたであろうと推測される。

ここでの1日は、驚きとともに遠い昔の人々に学ぶことや考えさせられることも多い。皆さんも是非一度、新たな感動を求めて、上野原縄文の森に来てみませんか。

鹿児島県上野原縄文の森園長 山本 英司

熊毛の考古学， 南の島の最古の土器

【開催期間】平成18年11月18日(土)▶平成19年3月31日(土)



世界最古の土器 (12,000年前)
三角山遺跡 (種子島・新種子島空港敷地内)



新種子島空港



縄文杉



三角山遺跡 (上屋久町)

新種子島空港の開港1周年を記念し、同空港建設にともない発掘調査が行われた三角山遺跡(さんかくやまいせき)を中心に、熊毛地域の先史文化を紹介します。同地域は三角山遺跡など縄文時代草創期の遺跡が多いことで著名で、その出土資料は全国的にも注目されています。

森の逸品

⑨軒丸瓦 (薩摩川内市薩摩国分寺跡)

寺の屋根には瓦がふかれましたが、軒先(のきさき)にふかれていたのが軒丸瓦(のきまるがわら)です。

軒丸瓦は、はすの花を形どった物が多く、薩摩国分寺のものも八葉複弁蓮華紋(はちようふくべんれげもん)で飾られています。



入園者50万人突破!

4月6日(木)に上野原縄文の森は入園者50万人を突破しました。

幸運の50万人目となったのは、山口県防府市からツアーで来園された川岡葉子さん。展示館の玄関前に設置したくす玉を50万人目の前後者とともに割り、突破記念として、50万人目とその前後者に縄文土器のレプリカを贈呈しました。



ミュージアムコンサート in 上野原縄文の森

8月2日(水)に第27回霧島国際音楽祭の一環として、ウィンド・アンサンブル・キリシマの演奏によるミュージアムコンサートが展示館ロビーで開催されました。

訪れた聴衆は、管楽器の奏でる穏やかなムードに包まれ、すっかり癒された様子でした。

集まれ工作大好きっ子
チャレンジ工作教室

8月17日(木)にドルフィンポートにおいて、「集まれ工作大好きっ子チャレンジ工作教室」が開催され、出前の体験講座を行いました。上野原縄文の森は、美海真珠(きゅうらみしんじゅ)のアクセサリー作り教室をおこない、会場は、工作が大好きな子供たちでにぎわいました。



今年も7月15日霧島国分まつりの総踊りに参加し、上野原縄文の森をPRしてきました。



毎月1回、開催しているサンデー縄文体験講座は、これまで「土器作り」、「動物のランプシェード作り」、「ネイチャーアート体験」をおこないました。

ニュースポーツフェスティバル in 上野原縄文の森



7月29日(土)・30日(日)に祭りの広場の利用促進とニュースポーツの普及を図るため、ニュースポーツフェスティバルを開催しました。バタックやティーボール、カンントリーボール、ディスクゴルフなど初めて体験する参加者も多く、なかなか思うようにはいかなかったようで、会場は、終日、笑い声に包まれていました。

ふるさと再発見!霧島山麓カルチャーツアー

8月12日(土)に霧島山麓カルチャーツアーを実施しました。霧島山麓に展開する文化施設を訪れ、ふるさとのすばらしさを再認識してもらおうということでこのツアーを企画しました。

上野原縄文の森では、美しい貝を使ったアクセサリー作りを体験し、霧島国際音楽ホールにおいては、県内で活躍中の音楽家の演奏に耳を傾け、霧島アートの森では、素晴らしい芸術作品を鑑賞するという盛りだくさんの内容でした。



サンデー縄文体験講座 受講生募集中!

- | | | |
|-------|---------|------------------|
| 1月14日 | 石器作り講座① | 定員 20名 |
| 2月4日 | 石器作り講座② | ※連続で受講できる方に限ります。 |
| 3月4日 | 石器作り講座③ | |

詳しくは上野原縄文の森までお問い合わせください。

どんぐり
倶楽部

通信⑨

みなさんは、「縄文うどん」を召し上がりましたか?
「縄文うどん」とは、うどん粉にどんぐり粉を混ぜたうどんです。麺に色が付いていますがどんぐり粉の色です。
9,500年前、上野原は恵み豊かな森が広がっていたと考えられています。ここに住んでいた当時の縄文人たちは、くん製、石蒸し、土器を使った食材の煮炊きなど多岐にわたる調理方法で、自然の素材を活かした食事をしていました。

どんぐり倶楽部では、そうした当時の環境も考慮しながら「縄文うどん」を春まつり・秋まつりなどのイベントで販売しています。ぜひ、ご賞味くださいませ。お待ちしております。



上野原縄文の森支援友の会
会長 木場 須美子

上野原縄文の森「春まつり」 5/3~5

今年もゴールデンウィークの3日間、「春まつり」を開催しました。

オープニングは、国分中央高校ダンス部の「縄文おどり」で始まり、若者の音楽祭や縄文の名工になろう！ わいわい縄文タウンなどのほか、くん製や石蒸し料理の無料配布などもあり、3日間とも多くの人でにぎわいま



1日縄文人体験

第1回 縄文料理復刻シリーズ' 06 5/20

～手作りハムとイカのくん製～

今年度、第1回目の1日縄文人体験は、縄文料理を再現しようということで、「手作りハムとイカのくん製」にチャレンジ！

参加した方の中には、初めてハム作りを体験する方も多く、肉のしぼり方には、特に苦労していたようでした。イカのくん製も、パッチリ仕上がりに、思わず「ビール！」と声が上がっていました。



第16回企画展 7/15~11/12

**「縄文海進と錦江湾の考古学
～6,000年前の地球温暖化～」**

約6,000年前にピークを向かえた縄文海進について紹介し、旧石器時代から古墳時代における錦江湾沿岸の遺跡立地の変遷を探りました。



第2回 草木染工房' 06 6/17

～ヤマモモで草木染め&ジャムづくり～

この回は、上野原縄文の森で採れたヤマモモの枝を使って染料を作り、その染料で自分だけのハンカチやスカーフを作りました。

また、ヤマモモの実を使って、ジャム作りにも挑戦！最後は、出来上がったジャムをパンに塗っての試食会となりました。



「こんなにきれいでできました！」

上野原縄文の森「秋まつり」 10/28・29

縄文の森の秋の自然を満喫しながら歩く「ウォーキング in 上野原縄文の森」を皮切りに、もりの音楽祭、フリーマーケット、ニュースポーツ体験のほか、お楽しみ抽選会など盛りだくさんの内容で、こちら大いに盛り上がりました。



今後の日程

参加者募集！

第3回 12月 9日(土) 冬の祭り'06 VOL.1
みんなでつくろう ～シンボルツリーとヒゲクマシリーズ～

第4回 12月 23日(土) 冬の祭り'06 VOL.2
みんなでつくろう ～巨大門松とミニ門松・ミニしめ縄～

第5回 1月 20日(土) 星の子シリーズ'07
～草スキーと旗づくり～

夏休み縄文キャンプ村

今年も子供たちにとっては、待望の夏休みがやってきました。当園人気の体験イベント「夏休み縄文キャンプ村」は、各回とも定員いっぱいでの宿泊体験となりました。みんな、楽しい思い出できたかな？

各回共通：「縄文料理」「壑穴住居宿泊体験」

第1回 7/22~23

「カブトムシ合戦」「きもだめし大会」



第2回 8/5~6

「蟲の探検・クワガタムシ探し」「星座絵作り」

「クワガタ 見つけたよ！」

第3回 8/26~27

「水鉄砲合戦」「火まつり」



平成18年度上野原縄文の森ご利用案内(早見表)

平成18年10月1日現在

上野原縄文の森は、体験型の歴史文化施設として、展示館見学(1)及び園内見学(2)の他、いろいろな体験メニュー(3~9)もご用意しています。ぜひ、縄文時代の文化や人々の暮らしを体験してみてください。

区分	メニュー	料金(団体):円	所要時間(分)	団体(要予約)	雨天時	内容説明(体験イメージ)
1 展示館見学	① 特別展示	小・中 150(120)	10	○	○	① 様々なテーマに基づき年3回企画展をおこなっています。 ② 上野原の時代にちなみ展示した縄文の暮らしの様子を体験いただけます。 ③ 上野原縄文の森のジオラマで紹介、夏祭文化祭や縄文文化の展示。
	② 縄文シアター(上映時間設定あり)	高・大 210(160)	20			
	③ 常設展示	大人 300(240)	30			
2 縄文ウォークラリー	① 見学エリアコース	無料	45~60	○	△	① 復元集落周辺(落葉樹の森)を見学します。 ② 体験学習館周辺(常緑樹の森)を見学します。 ③ 縄文の森全体を見学します。
	② 体験エリアコース		45~60			
	③ 縄文の森コース		60~120			
3 火おこし	① マイギリ	無料	15~30	○	×	
	② モミギリ					
	③ ユミギリ					
4 アクセサリー作り	① 滑石(かっせき)	200	60~90	○	○	
	② メノウ	200		×		
	③ 養海真珠(きゅうみんじゅ)	400(金具別売)		×		
5 古代織み物	① アンギン織み	無料	20~60	○	○	
	② 平織りでコースター	100	60	×		
	③ 縄文フレスレト	100	30	○		
6 土器作り	① はし置き	100	30~90	×	○	
	② お香立て	100				
	③ 皿	200				
	④ 湯のみ	200				
	⑤ 縄文土器	500				
	⑥ アロマポット	500				
7 ドングリアート	① 置物作りなど	50 (台座代)	30~60	○	○	 ※ドングリをペインティングして置物などを作ります。
8 弓矢	① 弓矢遊び	無料	15~30	○	×	
	② 弓矢作り	300		×	○	
9 縄文料理(要予約)	① 遠穴土坑でくし(食材持込)	無料	60~90	○	△	
	② 黒石で石釜料理(食材持込)	無料	120~150		×	
	③ ドングリクッキー(30名以上)	250(粉100g)			△	

- ※1. 「団体利用」及び「雨天時」欄の○×△印は、それぞれ、人数・天候に応じてご利用可能かどうかを表しています。
- ※2. 所要時間には、個人差があります。おおよその目安とご考慮ください。
- ※3. 体験メニューの料金は、1キット分の材料代です。

お問い合わせ、お申し込み先は… 鹿児島県上野原縄文の森
〒899-4318 鹿児島県霧島市国分上野原縄文の森1番1号
TEL 0995-48-5701 FAX 0995-48-5704

★ 新生 “フォレスタ” のご案内 ★

—RESTAURANT FORESTER—
レストラン フォレスタ

皆様これまでご愛顧いただきました、フォレスタは、10月より「創作御膳」の店としてリニューアルオープン致しました。深まりゆく縄文の秋を感じながら、ちよつとおしゃれなお食事をお楽しみください。ここでしか食べられない“どんぐりそば”もご用意しております。

なお、毎週火曜日は、ハイキング料理です。(¥1,300)
お好きなだけ、アラカルトでお召し上がりくださいませ!



「ハイキング料理」



「どんぐりそば定食」

新設 “惣菜弁当売場”

○バック入りおかず

¥250(引)

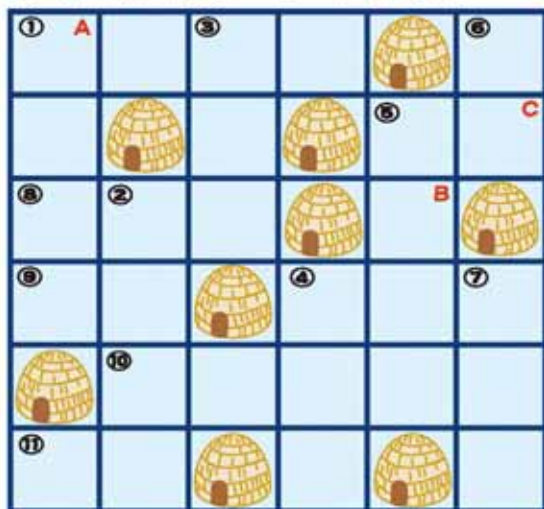
○創作弁当 ¥400(引)

※1. 当日の仕入れ商品で調理します。

※2. 火曜日(休)の日にはありません。

営業時間 AM9:00~PM5:00(予約応相談)
定休日 毎週月曜日(休園日と同じ)
TEL 0995-46-7711

じょうもんくろすわーど



正解者10名様に図書カードをプレゼント!

※正解者が10名を超える場合は、厳正なる抽選をおこないます。なお、当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。

ABCの文字をつなげて答えて下さい。

応募書例

- ①はがきをご利用下さい。
- ②解答は右のようにお願いします。
- ③応募の締め切り
平成18年12月29日(当日消印有効)
- ④送り先
〒899-4318
鹿児島県霧島市国分上野原縄文の森1番1号
鹿児島県上野原縄文の森 総務課 まで

年	氏	住	〒	答 〇〇〇
齢	名	所		

ワテのカギ

- ①素材を目的の器などの形にすること。「土器を〇〇〇〇する。」
- ②開いた形がガエスの口に似ているのでこう呼ばれる。財布。
- ③こどものために作った物語。
- ④中国の南西部にある省。省都は成都(せいと)。「〇〇〇料理」
- ⑤神がシナイ山でモーセに与えたという戒律。チャールトン・ヘストン主演の映画でもおなじみ。
- ⑥鎌(くわ)と〇〇。最も基本的な土地を耕やす農具です。
- ⑦建物を他の所へ移し建てること。



ヨコのカギ

- ①弥生時代の遺跡からは剣や銚(ほこ)・銅鐸(どうたたく)などの「〇〇〇〇器」が出土する。
- ④イスラエルとヨルダンの境にある塩分濃度が非常に高い湖。
- ⑤肩こりに効くといわれています。〇〇ネックレス。
- ⑥ミンクヤギンギツネなどの〇〇〇で作られたコートは高嶺の花? 縄文時代の鹿の〇〇〇で作ったコートは原巨の服?
- ⑦過去と未来との境である瞬間。
- ⑩ある植物が群れをなして生えている場所。
- ⑪松尾芭蕉の代表的作品。「奥の細〇〇」



※前号の答えは、「ヤヨイ」でした。

～お正月も2日から開園しておりますので、ぜひお越しください～

- 【開園時間】 午前9時～午後5時
(展示館入館は午後4時30分まで)
- 【休園日】 毎週月曜日(休日の場合は翌日)
(4月29日～5月5日は無休)
- 12月30日～1月1日(年末年始)
- 【利用料金】 (団体は20名以上) ※展示館内の展示室・シアターのみ有料
- ◆個人 小・中学生 150円 高・大学生 210円 大人 300円
 - ◆団体 小・中学生 120円 高・大学生 160円 大人 240円
- (県内の学校が教育課程等に基づき学習活動の一環として利用するとき等は減免措置有り)

縄文の森へのご案内



【編集・発行】財団法人鹿児島県文化振興財団 鹿児島県上野原縄文の森
〒899-4318 鹿児島県霧島市国分上野原縄文の森1番1号 電話 (0995) 48-5701 FAX (0995) 48-5704
URL <http://www.jomon-no-mori.jp> E-mail: uenohara@jomon-no-mori.jp